

## 病院で教育を担当する看護師のための看護教育プログラム

領域	授業科目及び担当教員		授 業 科 目 概 要
共通科目C	看護キャリア形成支援論	教育学研究科 教授 白松 賢 教育・学生支援機構 准教授 高橋 平徳	看護職のキャリア開発に必要な専門的知識や技能を深化・拡充するため、理論と実践の往還に基づく指導・支援方法を学ぶ。(1)組織レベルでの発達を促すライフサイクル・モデルと、個人レベルでの発達を促すライフヒストリー・モデルのキャリア開発方法を学習し、看護組織の向上に寄与する資質能力を獲得する。(2)体験学習や省察的実践の手法を学び、人生史レベルと行為レベルの、二つの省察を組み合わせ、体験から学びと成長を促す省察的専門家としての資質能力を獲得する。
	看護継続教育実践論	教育・学生支援機構 教授 中井 俊樹 総合臨床研修センター 助教 内藤知佐子	看護継続教育に用いられる講義・演習・シミュレーション・OJT などの特徴と具体的な活用方法について学ぶ。教育全体の設計、評価、改善の各段階での具体的な方法を身につける。また、看護師育成に必要な個別指導、集合研修などの企画・運営方法や、体験学習の効果的な実践方法を習得する。さらに教育対象者が主体的な学びを促すための支援方法を身につけ、看護継続教育を効果的に提供する実践能力を養う。
専門分野専門科目	看護継続教育特論	教授 永田 明 相原ひろみ	看護継続教育に関する理論や研究を概観し、対象者のニーズに沿った教育設計・教育実践・教育評価・教育改善に関する課題を明確にする。また、それらの課題を解決するための方法や研究の科学的アプローチについて学修を深める。
	看護継続教育特別演習	教授 相原ひろみ 永田 明	特論で得た課題について、解決のための具体的な方法論について検討するための演習を行い、研究課題を明確化し研究計画を作成する知見を得る。
実習科目	看護継続教育実習Ⅰ	教授 永田 明 相原ひろみ	履修者が所属する施設でのフィールドワークを通じて看護組織のレディネス評価を行い、組織の教育のニーズを理解する。そのうえで3観（教材観・生徒観・指導観）に沿った研修の目標設定、教育設計の立案を行う。
	看護継続教育実習Ⅱ	教授 相原ひろみ 永田 明	実習Ⅰによって立案した教育系設計を、履修者が所属する施設の看護組織に対して教育を実施し、その結果を評価し、教育の改善について検討する。実際の教育体験を行うことで、病院で教育担当をする看護師の基盤となる能力を習得する。
	課題研究	教授 永田 明 相原ひろみ	臨床における看護実践や看護継続教育を実践する中で生じた疑問や課題について、研究テーマを設定し、研究計画を作成し、研究を実施することによって、臨床看護師あるいは病院で教育担当をする看護師として実践上の課題を解決するための研究能力を養う。

領域	授業科目及び担当教員	授 業 科 目 概 要
共通科目A	<b>【必修】</b> 看護研究方法論 看護教育論 <b>【選択必修】</b> 看護研究演習 看護管理論 看護理論 コンサルテーション論 看護倫理 看護政策論	共通授業科目 参照
共通科目B	<b>【選択必修】</b> 臨床薬理学 フィジカルアセスメント 病態生理学	共通授業科目 参照

### 共通授業科目

領域	授業科目及び担当教員	授 業 科 目 概 要
共通科目	看護教育論 教授 陶山 啓子	看護教育制度の変遷や現状の課題及び生涯にわたって主体的に専門性を高めていける看護職育成のために必要な理論と方法を学修する。学修援助型の教育における教育者のあり方について、自らが経験した場面を活用して検討する。さらに、基礎教育、卒後・継続教育、患者教育における教育プログラムの作成をとおして、看護職が教育的機能を果たすために必要な基本的知識・技術を修得する。
	看護管理論 教授 西嶋真理子 非常勤講師 青山ヒフミ 松浦 正子	現在の医療制度などの外部環境を踏まえながら、看護管理のプロセスとしてのインプット（人、物、資金、情報、時間）、プロセス、アウトプット（看護成果、患者満足、職務満足、質改善、エンパワメント）について分析、探究する方法を学修する。そのために必要な思考を組織論、マネジメント理論、人的資源活用論、リーダーシップ理論などに関する文献学修をとおして養う。
	看護理論 教授 永田 明	卓越した看護実践の基盤となる看護の諸理論について理解を深めるために必要な知識を教授する。講義では看護実践または研究に影響を及ぼしてきた思想と理論の歴史の変遷を理解し、その存在論的、認識論的、方法論的前提を分析する。またそれらの実践事例への適用を試み、その批判的検討を通じて、臨床看護の実践、理論、研究の基礎となる看護の理論的基盤を模索する。
	看護研究方法論 教授 薬師神裕子 山内 栄子 相原ひろみ 宮内 清子	看護活動を効果的に展開するためには、研究的視点を持ち、看護の実践知を論理的・体系的に捉え、看護実践の改善に役立てていくことが必要となる。本科目では、看護における研究の意義を理解し、看護研究のプロセスを理解する。また、看護研究に必要な研究方法、研究デザイン、研究倫理について学び、研究計画書を作成する基礎的知識を修得する。
	看護研究演習 教授 山内 栄子 講師 城賀本晶子	看護研究における研究デザインや前提となる条件、科学的推論方法について学び、信頼性・妥当性の検証、データの活用方法を具体的かつ実践的に探求する。
	コンサルテーション論 講師 吉田美由紀 非常勤講師 添田百合子	コンサルテーションの意義や方法等について受講生の経験を踏まえ、プレゼンテーションや討議をとおして学修する。さらに、コンサルテーション活動を行うために必要な医療専門職、保健や福祉領域の専門職に対して相談し、調整できる基礎的な実践力を修得する。

領域	授業科目及び担当教員		授 業 科 目 概 要
共通科目	看護倫理	教授 相原ひろみ	倫理調整を実践する能力を獲得するために、その基盤となる倫理学に関する知識と倫理的問題を分析し、解決に導く方法論を修得する。授業では、倫理学、生命倫理学、看護倫理学の歴史の変遷や基本概念と倫理的意識決定支援に関する方法論を学ぶ。そして、看護実践で直面する倫理問題を解決するために必要な分析方法、倫理的なアプローチの方法、他の職種との倫理的調整の方法を探求する。
	看護政策論	教授 西嶋真理子 藤村 一美	人々のニーズに寄り添い、QOLを高める保健・医療・看護を実現するために、看護の質の向上を政策的に推し進めていくための仕組みや看護政策の機能を理解する。看護の歴史的展開過程を踏まえ、将来を展望し、現行の法制度における課題を分析する視点を持ち、演習をとおして課題解決や健康政策策定のための基礎的能力を修得する。
	地域包括 ケア基礎論	教授 陶山 啓子 西嶋真理子 薬師神裕子 二井谷真由美 宮内 清子 講師 小岡亜希子 柴 珠実 吉田美由紀	講義や文献検討を通して地域包括ケアの概念や発達段階各期、公衆衛生領域における地域包括ケアの必要性について学修する。また、フィールドワークやディスカッションを通して、地域医療における現状と課題について検討する。
	統計学	教授 藤村 一美 非常勤講師 矢田 浩紀	根拠にもとづく医療・看護・保健活動、及び看護研究（量的研究）において、必要な統計学やデータ処理の考え方、統計手法について教授する。統計ソフトSPSSを活用し、実際に統計解析への理解を深め、研究デザインやデータの特性に適した統計手法の選び方について学修する。
	臨床薬理学	教授 谷向 知 非常勤講師 重松 裕二 八杉 巧	薬理学の基本的な知識を元に、使用されている薬剤の特徴、作用様式、副作用などを理解する。さらに実際に薬物療法を受けている患者のモニタリング、症状管理、服薬管理、服薬指導について具体的に学び、看護実践に活かす能力を高める。
	フィジカル アセスメント	教授 二井谷真由美 非常勤講師 重松 裕二	看護実践に直結する対象からの看護情報を的確に収集し、アセスメントするための知識や技術を学ぶ。
	病態生理学	教授 二井谷真由美 谷向 知 非常勤講師 重松 裕二 八杉 巧	主要な症候の起こるメカニズムを理解し、主な疾患と症状との関連、使用している薬剤との関連について理解を深め、エビデンスに基づいたアセスメントができる能力を養う。
	インクルーシブ社会 実現に向けて	教育・学生支援機構 講師 上月 翔太	社会・組織における個人の多様性とは何かを学習し、多様性があることの意義、個人の多様性をめぐる課題についても学ぶ。
	教授法入門	教育・学生支援機構 講師 上月 翔太 教育・学生支援機構 教授 中井 俊樹 カモト・ジュリア・ミカ	大学院生やポストドクターが自らの専門分野の学識を他者に適切に教授するために必要な知識、技術、態度について学習する。